

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス きみ色とやま		
○保護者評価実施期間	R8年1月26日		～ R8年2月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	R8年1月26日		～ R8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○利用者一人当たりの職員配置数が多い。(二人の利用者に対し、一人以上の支援者が関わられるよう配置)	○退職者が急に出ないように良好な職員間の関係づくり、細やかな情報交換、意見交換に配慮している。	○急な退職者や休職者が出ることを想定して、予備人材の確保を図ろうとしている。
2	○活動プログラムの多様化が図られている。	○利用者の特性等を考慮し、新しいプログラムを考え、教材や教具、治具なども作成し、楽しく有意義な活動になるように、日々、工夫、創造している。	○常に、新しいプログラムを作成できるよう色々な情報をSNSを駆使したり、他の施設と情報交換するなどして探っている。
3	○毎日の活動をその日のうちに写真付きで保護者に伝えている。	○担当の支援員が固定化しないようにし、多角的な視点から、利用者の様子を伝えるようにしている。	○毎回、発信しているが、見られない保護者がおられます。毎日、確認したくなるような情報発信に努めたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○スペースが狭い。	○元々、借家なので広げることができない。	○狭いスペースを工夫して、仕切りや遊具などを活用して、有効利用している。 ○近くに公園や体育館などがあるので、晴れの日には公園での活動を多く入れるように、月水金曜日は、体育館を利用するように工夫している。
2	○利用者の細かな情報交換・共有の時間の確保が難しい。	○学期中は、常勤職員とパート職員の就業時間の違いにより、ミーティングの時間の確保が難しい。	○情報共有ソフトなどを効率的に用いて、共通認識を育てるように努力している。
3	○職員のスキルアップのための研修参加が難しい。	○平日の研修に出すと施設の運営が厳しくなってしまう。	○日々の活動の中で、スキルの高い職員が実践して見せたり、ノウハウを伝えたりしてスキルアップを図るようにしている。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		きみ色とやま		公表日		R8年2月16日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0	7	△狭いと思っている。広げられないので、近くの公園や体育施設などを積極的に活用している。	○狭いスペースをより効率的に活用するよう工夫していきたい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	◎基本、二人に一人の職員数を確保している。とても充実していると自負している。	○担当児童（生徒）が固定化しないよう情報交換を密に行い、より個々に対応した支援をしていきたい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	○事業所自体は、小さくコンパクトですが、様々な工夫を凝らし、利用者が快適に過ごせるよう配慮している。	○「1」同様、現状に納得せず、常に改善点がないか考えていきたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	○毎日の清掃はもちろん、利用者が気持ちよく活動しやすいように日々、工夫している。	○インフルエンザやコロナなどに対応した空気清浄機の設置を検討している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	△狭いながらも個のスペースを設けているが、工夫する余地がまだあると思っている。	○狭いながらも個別スペースを複数設置できるよう改善したい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	0	7	△（非常勤職員の勤務時間）＝（児童・生徒の利用時間）となっており、中々、時間が取れない。日々の報連相を可能な限り充実させている。	△報連相を抜かりなくできるよう最新のツール等をうまく活用していきたい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	○毎年、きっちりと進めている。	○抜かりなく進めていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	◎日々の報連相を徹底するなど、職員間の風通しを良くするよう努めている。	○どんなことでも言い合える環境づくりを一層、推進していく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6	□外部による評価は、正直、あまり参考にしていない。よい評価ばかりなので、第三者の評価より、保護者や利用者の評価を業務改善に繋げていきたいと考えている。	□左の通り。同業他社の意見や相談支援専門員などの意見を聞けるようになればいい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	0	7	△中々、時間を設定できない。市や県の研修には、参加を促している。	△参加を促すだけでなく、関連図書などを施設内に設置し、研修意欲を高めるようにしたい。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	○法令に従い、半年に1回、作成、公表している。	○今年度より、時期を固定（6月、12月）し、一気に作成・公表するようにした。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	○法令に従い、作成している。	○当然のことと捉えている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	○関係職員全員で検討している。	○意見交換を日々、行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	○行っている。	○継続していく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	○確認している。	○継続していく。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	○移行支援や地域支援、地域連携は、していないが、本人支援や家族支援は、しっかり設定し、実践している。	△移行支援や地域支援・連携については、積極的には行っていない。必要感が出てきたら適宜、行っていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	○行っている。	○チームを全体に広げていきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	◎日々、楽しい活動ができるよう工夫している。	◎これが、当事業所の強みであると考えている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	○行っている。	◎継続していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	0	7	□抜ける（できない）こともよくあるが、日々の報連相や個々への連絡などを共有することでカバーしている。	□物理的に無理なので、他の方法でカバーしていきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0	7	□支援終了後は送迎業務があるので打ち合わせはできない。日々の報連相や個々への連絡などを共有することでカバーしている。	□同上
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	◎日々の活動を保護者に写真付きで連絡し、それを職員間で共有している。	◎支援ツールを有効に活用している。
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	○行っている。	○継続していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	0	○行っている。	○継続していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	◎日々の活動の中で、利用者が自分の意志で選択できるものを多く散りばめている。	◎これが、当事業所の売りであると考えている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	○基本、常勤の児発管（2名）のどちらかが参画している。	○継続していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	□体制は整えている。が、生かす機会が、これまででは、ほとんどなかった。	□相手があることで、こちらの都合だけで進めることができないことである。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	×学校側の理解が低い。放課後等デイサービスが何たるかすら知らない方が多数おられる。	□同上
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	7	△ほぼ保護者からの情報のみで理解に努めている。気になる点が出てきた時点で、相談支援専門員を介して、ケース会議や担当者会議を企画してもらい、それに参加して理解に努めている。	□同上
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	7	△当施設は高校生の利用はないので情報を提供していない。	□中学校卒業までの利用としているので、今後も変わらないと考えている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	7	△今のところ、必要感がないので設けていない。今後、必要感が出てきた場合、設けたいと考えている。	△必要感が出てきたら機会を設けたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	○当法人が運営している放課後児童クラブとの連携している。	○継続していく。

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	0	7	△今のところ、必要感がありません。	△必要感が出てきたら機会を設けたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	◎日々の活動を写真付きで報告したり、送迎の際に、積極的に伝えたり、聞いたりして、理解を図っている。	○継続していく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	7	△そういう活動をする保護者がおられ、情報提供は行ったが参加される方はおられなかった。休日に行うとすると、対応する職員の確保が難しい。	△情報は、より積極的に流していきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	○行っている。	○継続していく。ニーズの高い保護者には、より丁寧に心をかけた。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	○設けている。	○継続していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	○得ている。	○当然のことと考えている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	○行っている。	○継続していく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	7	×保護者会を組織していない。今のところ、必要感がありません。	□ニーズがあれば、機会を設けていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	○苦情を受けたことは、ほとんどありませんが、あった場合は、即、対応している。	○苦情対応は、より慎重に行っていきたいと考えている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	◎利用の度に発信している。	○継続していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	○している。	○継続していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	○している。	○継続していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	×地域住民を招待するような行事はしていない。	□招待するスペースがない。事業所は全面ガラス張りであり、見ようと思えばいつでもみられる環境にはある。
非常時等	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	5	□全て策定してあるが、訓練は、避難訓練のみしている。	△避難訓練以外の訓練も実施していきたい。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	○定期的(不定期にも)に避難訓練は行っている。	○継続していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	3	×服薬や予防接種の確認を抜かっていた。改善していきたい。	△改善していく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	○されている。	○継続していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	○行っている。	○継続していく。

の 対 応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	○周知している。	○継続していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	□報連相は徹底しているが、検討はしていない。	△より徹底していきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1	6	△基本的に虐待について研修の必要がない職員ばかりなので、特別な研修はしていない。しかし、日々、変化していく虐待の定義にはアンテナを高くしていきたい。	△意識が低下しないように注意する。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	0	7	△今のところ、身体拘束が必要となる利用者がいない。今後もそういう利用者が来ることは少ないと考えているが、必要感のある利用者が出てきた場合、きっちり対応したいと考えている。	△今後、拘束が必要な利用者が出てきた場合に備えておきたい。